

本物を追求する人々

15

PR企画

本物の物づくりを通して
かかわる人の感性を豊かに

モロッコの南東部のイマジンという小さな村で、ベルベル絨毯づくりを2年ほど前から本格的に始めています。これは化学繊維や機械織りの普及で途絶えていた伝統の製法を復活させるというプロジェクトです。協働しているオーストリア人の大学教授が草木染織の伝授をし、自分は「GOSHIMA」と名づけた編文様のデザイン供給や技術提供、販売までを行っています。

このプロジェクトのひとつの重要な目的は、村の女性たちの雇用を創出することです。販売利益が出れば、その一部を活用して診療所を定期的な受ける場を設けたり、子供のための学びの場をつくるなど、村の整備にあてることができます。染織技術をひとたび習得すれば、彼女たちが先生となって他の村に技術を伝承することで、地域全体が整備されていくでしょう。

した感性や価値観を物を通して伝えていくのが、三方舎の使命だと思っています。

「三方良し」の理念を現代に生かしていく

自分がモロッコでの物づくりに携わるようになったきっかけは、「三方良し」という言葉にあります。それは、道徳や規律を重んじ、理念を大切に近江商人の哲学を表す言葉で、売り手、売り手、買手の三者みんなが幸せになり、成長できるような社会を目指す理念です。

世界には素晴らしい伝統や文化があり、それを守っていくという手づくりの想いを大切にすることで、販売して商いをする人だけが儲けるのではなく、かかわる人すべてが幸せになる、「三方良し」を体現する場をつくりたいと思って会社を立ち上げた時に、モロッコの知り合いから声がかかったのです。

センスを表現しやすい。みんな夢中になって、そして心を込めて作業しています。また、ひとりでも多くの人に携わってもらえるように、すべて人の手でつくっています。標高2000mを超える高原で育まれた上質な羊毛を手で洗い、紡いで糸にし、天然の色を草木を用い染めていく。製作の全工程から機械や化学的なものを一切排除するため、周りの環境を害しません。

上質なベルベル絨毯は使い込んでいくと、短い毛がとれて毛並みが整い、艶やかに変わっていきます。想いのこもった上質な物を愛着をもって長く使うことで美しく育っていくのが、ベルベル絨毯の最大の特徴。シミができるなどして家族の歴史も刻まれていく。とくに子どもは、小さいうちから本物に触れることで五感でいろいろなことを学び、日頃からいいものに暮らすことを学びます。こうした生活を通じて、物を大切に思う心、環境への配慮などを、自然に伝えていくことができるはずですが、巷に氾濫している、安く大量生産し使

い捨てる物とは逆の発想ですが、こう

仕事場兼ギャラリーで、数々のベルベル絨毯を広げる今井さん。模様や色は一工夫詰まる



「三方良し」の理念でつくられる上質の物は人の感性を豊かにする

三方舎 代表

今井 正人さん

Masato Inai

中東の絨毯を厳しい目で選定して輸入し、日本にギャップブームを起した今井正人さん。2011年には新たな可能性を求めて伝統手芸を復活させるプロジェクトを開始した。かかわる人すべてが幸せになり、使いつづけることで人の心を豊かにするような物。今井さんの物づくりの真髄とは。

いまい・まさと●1969年新潟生まれ。イランの遊牧民の手織り絨毯「ギャッペ」を輸入し、芸術性・品質により卓越した「アート・ギャッペ」の魅力が全国に広げた中心的存在。ライフスタイルやインテリア関連の雑誌でのアートギャッペ特集の監修も多数行う。2011年8月に、伝統染織の復興・継承プロジェクトを行う「三方舎」を設立。主に中東・北アフリカで活動している。



天然の樹皮でコーティングされた羊毛を使い、すべて手作りでつくられる。赤は西の木の皮、黄はヘナ、茶はタックブツの根で色をつけるなど、伝統的な草木染織を採用。村の人たちを中心に上質なベルベル絨毯を復活させた

もともと、私は新潟の新津で「ポー・デコール」というインテリアショップの経営にかかわってききました。そのなかでとくに、イラン遊牧民の手織り絨毯「ギャッペ」を選定し、日本に輸入し提供しています。20代の後半でギャッペに初めて触れるとすぐに虜になりました。「どんな所でどんな人が織っているのだろうか」という想像が膨らみ、

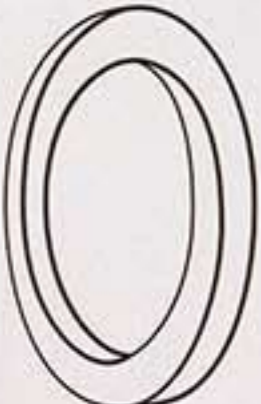
本物の家づくりが家族の豊かな感性を育む

ギャッペやリネンカーテンの販売を通じて、グリーンライフとは交流が生まれていきました。化学物質を一切排除し自然素材だけで家をつくるグリーン

これからはつくり手に目を向けながら、世界に誇れる物づくりを続けていきたいと思っています。本物を追求する輪が立場や世代、国籍を超えて広がってつなげていけば、これほどうれしいことはありませんね。

いい絨毯を長く使い続けることで感性を育むという話をしましたが、家もまったく同じだと思っています。ふだん生活する空間が本物の自然材料で囲まれていけば、感じることも身につくことはたくさんあります。そして、家族の歴史が刻まれながら、みんな大事に住み続ける感覚は、次の世代にも引き継がれていくでしょう。

http://www.zero-home.net



宣言の家

1mmも嘘がない家づくり

読者プレゼント

お問い合わせいただいた方全員に、澤田氏の著書「神様が宿る家2」と「0宣言の家」がわかるDVDをプレゼントいたします。



※応募締め切り：2013年7月末日

お問い合わせ先

「ゼロ宣言の家」を実践する全国ネットワーク(全国32社) 株式会社グリーンライフグループ 〒969-3101 福島県郡山郡種市町字清水前2748-1 TEL0242-72-1769 FAX0242-72-1768

本物志向の暮らし 検索 0120-91-3969